

2026 年 7 月

2025（令和 7）年度 海外派遣留学生に関する報告

<派遣留学（長期）> 4 名

カナダ	ジョージアン大学	1 名
カナダ	ヨーク大学付属英語学校	1 名
台湾	東海大学	1 名
中国	東華大学	1 名

<短期研修>

・海外セミナーⅠ 18 名

フィリピン	セブグローバルゼーション	夏季 10 名	春季 6 名	計 16 名
フィリピン	セブフィリントナーアカデミー		春季 2 名	計 2 名

・海外セミナーⅡ 17 名

オーストラリア	インパクトカレッジ	夏季 1 名		計 1 名
台湾	東呉大学語学センター		春季 6 名	計 6 名
韓国	建国大学	夏季 6 名	春季 1 名	計 7 名
フィリピン	ネグロス島国際協力 PJT	夏季 3 名		計 3 名

※詳細 別添参照

以 上

2026 年 7 月

2025（令和 7）年度 海外派遣留学生に関する報告

科目名：海外セミナー I

プログラム内容：語学研修（4 週間特訓）

派遣先：フィリピン セブグローバルゼーション

期 間：（夏季）2025 年 8 月 23 日 ～ 9 月 20 日

（春季）2026 年 2 月 7 日 ～ 3 月 7 日

概算費用： 約 46 万円

参加者：合計 11 名

学科（コース）別	人数（夏）	人数（春）
経法商	1	1
国際コミュニケーション	8	5
福祉文化（社会福祉）		
福祉文化（健康スポーツ）	1	
こども文化		
管理栄養		

総授業時間数：約 320 時間

時間割：

時間帯	内容
8 時 ～ 12 時	個人授業（1 対 1）
13 時 ～ 17 時	グループ授業（1 対 2 ～ 4）
18 時 ～ 20 時	目的別クラス授業（検定試験等向け、ビジネス向け等）
20 時 ～ 22 時	自習（宿題、復習、課題学習）

成果（報告書から抜粋）

・ CGacademy では、食事の時間や自分の部屋にいるとき以外は母国語の使用が禁止されており、万が一母国語を話してしまうとペナルティーが課される仕組みだった。そのため、コミュニケーションをとるためには常に英語を話さなければいけない環境のため英語力の向上につながると感じた。

・ 1 対 1 の授業は、レベルテストの結果をもとに自分の苦手な分野や、自分のレベルに合わせて授業を行う。私の場合は「英語を話す」と「文を作る・書く」が苦手だ。この 2 つを中心に授業をしてもらい、補足で発音の練習や語彙力不足を補うため、英単語の

意味や使い方についても学んだ。例えば、「英語を話す」と「文を作る・書く」ことは、ある程度単語を覚えないと難しい。私は英単語を十分に覚えていないため、考えていることを相手に伝えることを苦戦した。そのため、日常で使える英単語とその意味、使い方なども学び、実際にそれらを用いて先生と会話や文を作る練習も行った。

・CGacademy では、授業はマンツーマンとグループ形式があった。マンツーマンの授業では教科書を進めていくだけでなく、先生との世間話を通して英語力を向上することができたと感じる。グループ形式の授業では生徒同士で意見を交換し合うものが多かった。私が参加したグループは、みんなレベルが高く着いていくことに必死だった。毎回、私だけ上手く意見を述べるができなかった。それがとても悔しく、毎回自習の時のモチベーションに繋がった。

・寮生活の中で大変だと感じたこともいくつかある。まずは、水道水をそのまま飲むことができない点である。そのため、毎回ウォーターサーバーまで水を汲みに行く必要があった。また、歯磨きをする際も、水道水は使わず、水筒に入れた水を使うように意識した。日本では絶対に意識することのないことも意識することが必要だった。次に、虫がとても多かった点である。特に蚊が多く、毎日刺されていた。そのため痒みが強く、夜なかなか眠れないこともあり、ストレスを感じることもあった。このような生活の中から、日本での生活環境がとても整っていることを実感することができた。

・今回のセブ島での経験を通して、英語力だけでなく、自分の考えや価値観にも大きな変化があった。実際に英語を使って人と関わる中で、完璧でなくても伝えることの大切さを学び、英語を使うことの恐怖心がなくなった。また、現地での生活や貧富の差を目の当たりにし、日本での生活が当たり前ではなく、恵まれているものだと気づいた。この経験を今後活かして、さらに成長していけるようにしたい。

2026 年 7 月

2025（令和 7）年度 海外派遣留学生に関する報告

科目名：海外セミナー I

プログラム内容：語学研修（4 週間特訓）

派遣先：フィリピン セブ フィリンターアカデミー

期 間：（春季）2026 年 2 月 7 日 ～ 3 月 7 日

概算費用： 約 50 万円

参加者：合計 11 名

学科（コース）別	人数（夏）	人数（春）
経法商		
国際コミュニケーション		2 名
福祉文化（社会福祉）		
福祉文化（健康スポーツ）		
こども文化		
管理栄養		

総授業時間数：約 320 時間

時間割：

時間帯	内容
8 時 ～ 12 時	個人授業（1 対 1）、グループ授業（1 対 2 ～ 4）混合
13 時 ～ 17 時	

成果（報告書から抜粋）

・特に自分の英語力の向上を実感できたのは、スモールグループクラスと lonl クラスでした。スモールグループクラスでは、少人数で授業を行うため、リ、ひとりが自分の意見を発言する機会が多くありました。授業では必ず自分の考えを英語で述べる必要があり、内容が難しいと感じることもありました。そのため授業の前に予習をして内容を理解してから授業に臨むようにしていました。その結果授業中に自分の意見を英語でその場で考え相手に伝える力が少しずつ身についてきたと感じました。最初はうまく言葉が出てこないこともありましたが回数を重ねるうちに自信を持って発言できるようになりました。また、lonl クラスでは先生と一対一で会話をするのができたため、スピーキング力を特に伸ばすことができたと思います。授業ではトピックについて自分の考えを話したり、先生と日常的な

会話をしたりしました。マンツーマンの環境だったため、間違いを恐れずに英語を話すことができ、短い期間でもスピーキング力が上がったと実感しました。先生が丁寧に表現を直してくれたり、新しい言い方を教えてくれたりしたことも、自分にとって大きな学びでした。

・授業以外の時間でも、多くの学びがありました。私は外国人のルームメイトと一緒に生活していたため、日常生活の中で文化の違いを感じる場面が多くありました。その国の文化や考え方について直接知ることができ、とても貴重な経験になりました。また、外国人の友達とどのようにコミュニケーションを取ればよいのかについても深く考えるようになりました。お互いに英語が完璧ではない状態で会話をしていたため言葉だけでなくジェスチャーや表情などさまざまな方法を使って伝える工夫をするようになりました。

さらに、友達とおしゃべりをしたり、その国のゲームと一緒に遊んだりすることで、それぞれの国に昔からある文化や遊びについても知ることができました。こうした交流を通して、英語を学ぶだけでなく、さまざまな国の文化を理解することができたと思います。

・今回の留学は、英語力を向上させるだけでなく、文化や価値観の違いを学ぶことができたのもとても貴重な経験でした。外国人の友達や先生と交流する中で、多くのことを学び、自分自身も少し成長できたと感じています。最初は不安もありましたが、実際に過ごしてみると毎日がとても楽しく、充実した時間を過ごすことができました。この留学は自分にとってとても良い経験になったと思います。もし機会があれば、またぜひ海外に留学して、さらに多くのことを学びたいと思いました。

・留学生活の中で特に楽しかったことは、学校で行われたイベントである。例えば、バレンタインデーには休み時間に先生や生徒が広場で歌を歌うイベントがあり、学校全体がとても明るく楽しい雰囲気に包まれていた。また、「English Day」というイベントでは、英語を使いながら交流する活動があり、生徒同士の距離も近くなり、とても印象に残っている。

・日本とは異なる生活環境や文化の違いにも多く気づいた。例えば、街中に野良犬がいることや、トイレの紙を流すことができないこと、水道水は使うことはできるが飲むことはできないことなど、日本では当たり前だと思っていたことが必ずしも世界共通ではないことを知った。さらに、買い物をした際には物価が日本よりも安いことにも驚いた。このような経験を通して、国によって生活環境や価値観が大きく異なることを実感した。

・留学生活の中で特に楽しかったことは、学校で行われたイベントである。例えば、バレンタインデーには休み時間に先生や生徒が広場で歌を歌うイベントがあり、学校全体がとても明るく楽しい雰囲気に包まれていた。また、「English Day」というイベントでは、英語を使いながら交流する活動があり、生徒同士の距離も近くなり、とても印象に残っている。

2026 年 7 月

2025（令和 7）年度 海外派遣留学生に関する報告

科目名：海外セミナーⅡ

プログラム内容：語学研修（4 週間）

派遣先：オーストラリア インパクトイングリッシュカレッジ（ブリスベン）

期 間：（夏季）2025 年 8 月 8 日 ～ 9 月 6 日

概算費用：約 65 万円

参加者：合計 1 名

学科（コース）別	人数	学科（コース）別	人数
経法商	1 名	福祉文化（健康スポーツ）	
国際コミュニケーション		こども文化	
福祉文化（社会福祉）		管理栄養	

総授業時間数：約 80 時間

時間割：

時間帯	内容
9 時 ～ 13 時	レベル別による 4 技能別・総合学習
オプション	リスニング特化、ビジネス、IELTS コース等

成果（報告書から抜粋）：

- ・劇的に向上した英語力と「生きたコミュニケーション」の獲得

留学前、私の英語力は「まったくと言っていいほどできなかった」と言えるレベルでした。特に、アルバイト先で英語圏のお客様と接する際、リスニング能力が決定的に不足しており、日常的な会話をこなすことがほとんどできませんでした。オーストラリア到着初日のホストファミリーとの会話も、ほとんど聞き取れないという厳しい現実を突きつけられました。さらに、たとえ伝えたい内容が正しくても、発音が悪いために相手に聞き取ってもらえないという壁にも直面しました。

しかし、このような困難な状況の中で、私は自主的な努力と周囲の助けによって着実に英語力を向上させることができました。具体的には、分からない表現や単語は自分で徹底的に調べ、また、非常に友好的であったホストファミリーに積極的に質問し、

指導を受けることを繰り返しました。この継続的な学習と実践の結果、徐々に英語を理解できるようになっていきました。

この英語力の向上を最も強く実感したのは、留学を終えて帰国し、以前のアルバイト先に戻った時です。留学前にはほとんど不可能だった英語圏のお客様との会話 が、聞き取れるようになっていくだけでなく、自然な日常会話をこなせるようになっていくことに、自分自身が驚きました。

さらに、業務においてもその成長は顕著に現れました。レジ業務の際、海外での接客を参考に、イントネーションや、質問の仕方を真似ることで、以前は聞き取ってもらえなかった私の言葉が通じるようになりました。これにより、以前は言語の壁 から日本人のお客様にしかできなかった商品の案内や説明を、海外の英語圏のお客 様にも自信を持って提供できるようになり、顧客対応の幅を大きく広げることができました。留学前は「できなかったこと」が、留学後には「できること」になっているという体験は、自身の英語学習における努力が実を結んだことを強く証明する ものであり、大きな自信につながりました。

1 .人生を豊かにする「積極性」の重要性の体得

英語力の向上に加えて、私はオーストラリア留学を通して積極性の大切さを深く学びました。異国の地で新たな生活を送る中で、自分から積極的に行動を起こし、他 者に話しかけていくことが、留學生活の充実度を左右する鍵であることを痛感した のです。

具体的な例をあげると私は入学初日に当たり前ですが、初めましての人しかおらず、少し委縮してしまっていました。しかし周りを見るとみな積極的に話しかけに行き、話しているので、委縮していても有意義な留学にならないなと思い、積極的に話しかけに行くことを決心しました。この積極性を実践することで、私は海外で の豊かな交友関係を築くことができました。自分から多くの人に話しかけ、コミュニケーションをとる努力を続けた結果、楽しいオーストラリアでの生活を送ることができただけでなく、日本の友人だけでなく、他国の友人ができ、異文化交流を通じた有意義な留学とすることができました。

この積極性は、今後の人生においても、新しい環境や多様な人々と関わる上で、自らの可能性を広げ、成功を掴むための重要なスキルとなるでしょう。英語力の向上 と、このチャレンジ精神と行動力こそが、オーストラリア留学で得た二大成果であると確信しています。

2026 年 7 月

2025（令和 7）年度 海外派遣留学生に関する報告

科目名：海外セミナーⅡ

プログラム内容：語学研修＋異文化体験（3 週間）

派遣先：韓国 建国大学（ソウル）

期 間：（夏季）2025 年 8 月 5 日 ～ 8 月 21 日

（春季）2026 年 2 月 1 日 ～ 2 月 14 日

概算費用：約 22 万円

参加者：合計 7 名

学科（コース）別	人数	学科（コース）別	人数
経法商	名	福祉文化（健康スポーツ）	
国際コミュニケーション	7 名	こども文化	
福祉文化（社会福祉）	名	管理栄養	

総授業時間数：約 48 時間

時間割：

時間帯	内容
9 時 ～ 12 時	レベル別による総合学習
週 2 回	異文化体験（料理実習、歴史観光、TV 局見学等）

成果（報告書から抜粋）：

・初級クラスではおもに基本的な部分を勉強しました。私は一年の時にオーラル韓国語を取って勉強していたのですが、それと同じような基礎的な内容の勉強を最初は行っていました。忘れている部分が多くあったのですがまた 1 から学ぶことができました。そして私が 1 番いいと思ったことは、同じ内容を勉強していても説明は全て韓国語なので説明の時に出てくる単語がとて多くありました。その単語や名前、物など分からなかったら先生が画像と共に説明してくれて、日常に出てくる単語がたくさん学べたところがよかった部分だと感じました。基礎的な勉強の後は会話でよく使われるフレーズの勉強が行われるとともに書くことも増えてきました。私は書くことがとても苦手で心配でしたが、ワークブックをやったあとは必ず先生が一人一人チェックしてくれたこともあり、間違いをすぐに理解して直すことを繰り返すし、最終日には書く力が伸びたと実感しました。

・授業の最終日には書くテスト、話すテストをやりました。ライティングに関してはこれまでの授業内容の振り返りが主でした。ですが、最終日に近づくにつれて授業内容も難しくなっていたこともあり、テストでもできない部分も少し出てきて、テストを通して勉強を集中的にしないといけない部分が知れました。スピーキングテストも授業内容の振り返りでした。最初のクラス分けテストに比べるととても自分の成長を感じました。やはり17日という短い時間とはいえ、日常は韓国語なので明らかにリスニング力が上がり、理解できる程度になってきて、嬉しかったです。ただ、話すとなったら授業だけでは当然足りなくて、そこは帰ってきてからの自分の課題だと感じました。また恥ずかしくても発言することの大切さを改めて感じ、もっと積極的に発言できた部分はあったと思いました。

・先生が本当に親しみやすい先生で、連絡先を交換したり、最後にはたくさん写真を撮ったりと、仲良くなることが出来ました。とてもいい出会いだったと感じました。

生活面では大変な部分が多くありました。私のルームメイトは先輩だったので、最初はコミュニケーションもぎこちなく、家族以外に人と住むといのは初めてで、私の普通は先輩にとっては違っていたので大変でした。また先輩ということもあり言いたいことが言えず私の中で溜め込んでしまったりして、悩むこともあったのですが、留学でしか体験できないのでいい経験になったと思いました。

・クラスが分かれ40人くらいでの本格的な授業が始まった。日本語での説明が一切ない、完全韓国語での授業はとっても新鮮で聞き取れることに喜びを感じた。わからない単語も先生が砕けた単語やジェスチャーで教えてくれるので、理解できた。基本的には一つの文法を読み書きしながら学ぶのだが、例文などに出てくるスポーツや行事が韓国の伝統的なものが多く、文化も一緒に学ぶことができた。次の日が休みだったため、電車に乗り漢江に行った。

・休みの日には、みんなと別行動で韓国に長期留学しているお友達と遊ぶことができた。待ち合わせ場所に行くまで、1人で駅に行き電車に乗り、韓国で1人行動をしていることに違和感を感じながらも、とても有意義な時間であった。念願だった漢江は多くの人で賑わい、綺麗な夕焼けや噴水ショーを見れ、疲れが少し取れた気がした。忘れられない1日になった。

2026 年 7 月

2025（令和 7）年度 海外派遣留学生に関する報告

科目名：海外セミナーⅡ

プログラム内容：語学研修＋異文化体験（3 週間）

派遣先：台湾 東呉大学語学センター（台北）

期 間：（春季）2025 年 3 月 1 日 ～ 3 月 14 日

概算費用：約 30 万円

参加者：合計 5 名

学科（コース）別	人数	学科（コース）別	人数
経法商		福祉文化（健康スポーツ）	
国際コミュニケーション	5 名	こども文化	1 名
福祉文化（社会福祉）		管理栄養	

総授業時間数：夏季 約 72 時間 春季 約 45 時間

時間割：

時間帯	内容
9 時 ～ 13 時	レベル別による総合学習
数回	文化体験（料理実習、書道、遠足等）

成果（報告書から抜粋）：

・私は、最初は語学の勉強だけをやりに台湾へ行き、たったの 2 週間で何も変わるはずないと思っていました。ですが、全然違いました。現地で勉強すると、習ったことをすぐに試すことができ、コンビニでしゃべってみたり、たまたま隣に座った方とのコミュニケーションが通じて嬉しくなったりと、沖縄で勉強するのとはまた違ってとても中国語を身近に感じることができました。また、教科書で習う中国語とは違って、もっとラフに実際現地の方も使っている言葉を習ったりしたので、同じ意味でも違う言い方もあるのだと学べました。

・友達と個人的に留学先でのミッションを作っていました。それが、現地の台湾人に話しかけて、10 人の台湾人といっしょに写真を撮ることです。勇気を振り絞って、拙い中国語

で話しかけ、写真を撮ってくれないかとお願いするというのを繰り返していました。突然話しかけたにも関わらず、フレンドリーに話を返してくれて、台湾人はやっぱり優しい方が多いなと思いました。写真を撮ろうと声をかけたこと、そしてその声をかけるために自分たちで中国語を調べたり、現地で留学のサポートをしてくれた大学生にこの文章で当たっているかを確認したりと、自分たち自ら中国語に触れていったことは、中国語のレベルアップに確実に繋がりました。他の誰もやっていない自分たちだけのミッションだったので、意識的に周りとも差がつけられたかなと思います。写真を撮ることを目的として話しかけていたけど、話が広がって連絡先を交換するほど友達になることができ、実際に夜ご飯にも行ってプライベートでとても仲良くなることができました。やっぱり、現地の台湾人と関わることが1番成長する近道であり、達成感につながるなと思いました。

・この短期留学では、私と同じように中国語を学びたいという意志を強く持った人たちがたくさんいました。そんな環境はとても新鮮であり、それと同時に学びたい欲がもっと高まったのが自分でもわかります。みんなからの刺激があったからこそ、もっと上を目指したい気持ちが出てきたら、他のみんなよりも喋れるようになりたいという気持ちも芽生えました。

・先生方もとても親切で、私たちのレベルに合わせて、生徒皆が授業に参加できる場を作っておりとても良い環境と先生方でした。また、同年代の子達と協力して生活するのは、自分自身の成長にも繋がったと思います。お試して留学を考えている方はぜひ行ってほしいと思いました。